

2020年度

岡山大学大学院法務研究科

法学未修者入試A日程

小論文問題

- ・ 指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- ・ 解答は解答用紙に横書きで記入してください。
- ・ 問題冊子は、この表紙を含めて合計7枚あります。
- ・ 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください（解答用紙は解答の有無にかかわらず、必ずすべて提出してください）。

問題 後掲の〔文章〕を読んで、下記設問に解答しなさい。

〔設問1〕（配点80点）

〔文章〕の筆者は、特殊詐欺の被害がなくなる理由をどのように考えているか、300字以内で説明しなさい。

〔設問2〕（配点120点）

〔文章〕を参考にしつつ、次の〈事例〉の「A」が被害に遭った原因について〈事例〉中に挙げられた具体的事実を指摘しつつ、あなたの考えを700字程度で述べなさい。なお、法律知識を問うものではない。

〈事例〉

1 Aは、高校卒業までは、緑豊かなのどかな地で家族と同居し犯罪被害とはほとんど無縁の生活を送っており、岡山市内の大学に入学して、両親から月10万円の仕送りを受けながら、同市で1人暮らしをするようになった。Aは、大学入学後に初めてスマートフォンを持つようになり、時間があれば様々なインターネットサイトに接続して閲覧するなどしていた。Aは、高校の授業でインターネットサイトにまつわる様々なトラブルや犯罪などの教育を受けており、これらに注意していた。

2 Aが20歳になった直後のある日、Aはいつものようにスマートフォンで無料検索サイトで調べものをしていたところ、いきなりアダルトサイトに接続され、数十秒閲覧してしまったものの、すぐにスマートフォンの電源を切った。

その約1か月後のある日、Aのスマートフォンに【別紙】資料のメールが届いた。

Aは、このメールを読んで次のアからオのように考えてしまい、メールを受信した3日後に7万円を指定の口座に振り込んだ。

ア もし、裁判を起こされてしまったら、親に叱られるだけでなく、大学から処分を受けるかもしれない。自分の経歴に傷が付き、就職もできないかもしれない。

イ 確かにアダルトサイトに接続してしまい、そのとき少し閲覧した。利用料が高額になっているのは、すぐにネット接続を切断したつもりができてなかったのだろう。

ウ 「債権回収東京総合法務事務所」という事務所は、ネット検索で出てこないが、ホームページなどを出していない事務所なのだろう。おそらく、国からも認められた東京にある大きな弁護士事務所なのだろう。

エ このメールには、私の名前や住所は書いていないが、相手は私のメールアドレスを把握しているのだから、当然、私の名前や住所も知っているのだろう。

オ 今、7万円を支払ったら3万円の得になるし、7万円なら持っている。払えば、悩みはなくなるだろう。

設問以上

※ 〔文章〕の出典：岡本真郎『なぜ人は騙されるのか—詭弁から詐欺までの心理学—』（中公新書・2019年）91頁以下、第3章「騙す—日常生活に潜む危険」（なお、出題の都合上、一部を省略・加工している。）

【別 紙】

資 料

件名： 最終告知

本文： あなたが閲覧したアダルトサイトの利用料が未払いとなっており、
現在、利息を含めて10万円になっています。

そこで、あなたに対し、東京地方裁判所に民事裁判を起す準備
を完了しました。ただ、3日以内に7万円を次の口座に振り込めば、
残額は免除し、裁判は見送ります。

(振込先 ●●銀行△△支店 口座番号 ×××××××)

法務省認定 債権回収東京総合法務事務所

【出題意図】

特定のテーマについて書かれた問題文を読み、その内容を的確に理解し要約する能力をみるとともに、提示された事案を分析し、関係する具体的事実を抽出して、問題文を見解を参考にしながら自己の見解を論理的かつ説得的に論述できる能力をはかることが出題の意図である。